

こんな子どもに ☆ゆめをもち、なかまを大切に、元気いっぱい！

「いのちを見つめる強調月間」

今月は、「いのちを見つめる強調月間」です。日野小では、「いのち」を見つめ、自分を振り返る場づくりや様々な取組を日々の教育活動の中で行っています。

6月1日（金）の全校朝会では、「よりよく生きるとはどういうことか」ということについて1冊の絵本（「ことばのかたち」）を読み語りながら、話をしました。

人はいろんな「ことば」を用いて、毎日生活しています。口から発せられる「ことば」だけではなく、視線や目力による「目ことば」や身振りで示す「体ことば」などもあります。今回は口から発せられる「ことば」について取り上げました。

人は、「ことば」によって生かされ、時には「ことば」によって傷つけられ、命を落とすきっかけにもなることさえあります。できるなら、受け取って心が温くなる「ことば」、たとえ受け取ったときは少し心も痛んだとしても、後になって生きてくる「ことば」をかけたいし、受け取りたいものです。絵本「ことばのかたち」では、「もしも話すことばが目に見えたら……ことばの使い方は変わるだろうか？」日々のことばの向こう側にある風景を詩のように描いています。

子どもだけではなく、大人も今の言葉は、色や形にするとどうなるのだろうと立ち止まって考えなくてはなりません。担任の先生を通じて、届いた子どもたちの感想の一部を紹介します。



・言葉の形が見えたら、人に悪いことを言えないし、形が見えなくても、悪いことを言っていないといけないということを、あらためて知りました。

・わたしは、友だちをきずつけることばじゃなく、人を楽しませることばや人をうれしくすることばを使いたい。

・わたしはお話を聞いて、「ことばがいはすごく大事なんだなあ」と思いました。このお話を聞いて、「とがったことばを言ったかな」と心配になりました。こんどからは、言葉づかいをちゅう意して、友だちと話をしたいと思います。

三年生

・私は、言葉って本当に気をつけてしゃべらないとあらためて思いました。なぜかというところ、いやな言葉にはトゲがあるの、やさしい言葉には、花があつてきつと相手が、やさしい気持ちになれるからです。なので、わたしは言葉づかいに気をつけてしゃべろうと思いました。

（中略）
これからは、いろんな人にやさしいことばをかけ、友だちとさらになかよくになりたいです。

四年生

・私は今まで使ってきた言葉の中で、人を楽しませる言葉を使ったり、さりげなく言ったつもりでも、人を傷つけていたり、きつといういろんな言葉を使ってきたと思います。自分で分らないから言葉を選んで伝え方を考えるのだと思います。

私は、これから、言葉に気をつけて、ハートのようなやわらかい形でピンクや黄色のような、やわらかな色や元気のいい色の言葉を使っていきたいです。（…略）

（中略）……お話を聞いて、言葉は人をうれしくするしきずつけたりする。言葉は、相手のことを考えて使おうと思いました。

五年生

・ぼくは、人にだいいじょうぶ、ありがとう
 といいたいとおもいます。みんながにこ
 にこしてもらいたいからです。

・やさしいことばをつかってくれたら、心
 があつたかくなります。

・本をよんでくれて、ありがとうございま
 した。ぼくは、いのちはだいいじなあと
 おもいました。やさしいことばをつかい
 たいです。

・ことばのいろんな色やかたちがみえたら
 「すごいことば」と、思いました。だから
 わるいことばやかなしいことばを言わな
 いようにします。

一年生

民生児童委員さんや日野っ子会の会員の皆様にも、子どもたちとともに朝会に参加していただき、話を聞いていただきました。各学級でも、この機会を捉えて、「いのち」を中心に置いた取組を進めています。どのような取組が行われているのか、一度耳を傾けていただければと思います。

ところで、子どもたちは、生き生きと生きる大人の姿が大好きです。「夢」や「希望」が膨らむ話も好きです。そして、そんな大人にあこがれます。子どもの前に立つ教師も大人も、子どもたちにあこがられる存在になれば素晴らしいと思います。頑張りたいと思います。

○お話会・・・すてきな絵本の読み聞かせ

今年度も、地域のボランティアのみなさんによる「お話会」が始まりました。月曜日の朝の時間、ボランティアさんが選書された絵本を読んでもうございました。今回は、1・2年生がお話を聞くことができました。みんなジーンと集中して聞いています。お話の世界が心の中に広がっているようでした。

忙しい朝の時間、子どもたちのために「お話会」をしてくださる地域の方に感謝の気持ちでいっぱいです。良書は、心の宝ものです。たくさんの本にふれ合ってほしいと思います。



○集団下校・・・地域の方の見守りの中で

7日（木）に集団下校を行いました。写真にあるように、地区ごとに決められた教室等で集団下校班の人員の確認をしたり、安全な歩行の仕方や定められた通学路の確認をしたりしました。6年生を中心とした話し合いや地区担当の先生からの確認等もあり、登下校の安全について考える時間となりました。

今回は、民生児童委員の方も各地区に分かれて引率していただきました。「子どもたちが事件や事故に巻き込まれることを少しで防ぎたい」というありがたい言葉もいただき、子どもたちの命を守るために、大人がどう行動すべきか、一つのヒントをいただいたように思います。

